

## 平成26年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況

運営目標	目標の内容	達成区分		小項目の達成状況（数値目標の実績値・達成率）及び【未達成の要因・理由】
			細目	
1 京都丹波の新しい魅力として健康づくり・スポーツ観光を推進します。	<p>①京都スタジアム、トレセンの整備に向けた、活用方策や受入環境の整備、広報PR活動、スタジアムの賑わいづくり、ホームタウン化促進を推進します。</p> <p>・京都サンガ選手の京都丹波イベント参加（EXPO、亀岡サッカーデー、各種イベントでの出演10回）</p>	◎		・計18回出演 <◎>
	<p>②スポーツと地域資源を組み合わせ、スポーツ観光を推進します。</p> <p>・丹波自然運動公園、スポーツイベントなど、スポーツ交流人口10%アップ（60万人）</p> <p>・京都丹波まるごとスタジアム推進会議の設立（市町、教育委員会、体育協会等との連携組織の設立）</p> <p>・様々な地域資源を活かし、キッズ体験プログラム、アウトドア体験プログラム、食とスポーツ体験旅行等のモデル的なスポーツ体験プログラムを企画・開発（3コース）</p> <p>・地域のスポーツ観光に関する情報を発信（ラフティング、カヌー、パラグライダー、自転車、乗馬等）（スポーツ観光情報媒体作成）</p> <p>・スポーツ観光情報の集約と一元化（スポーツ観光ポータルサイト、フェイスブックの開設）</p> <p>・新たなスポーツイベントの企画提案、誘致（トライアスロン大会誘致、京・里山「美脚ウォーク」など（4回））</p> <p>・観光への波及効果を高めるため、地域で開催される京都丹波ロードレース等の参加者及びその関係者への宿泊、食事、観光情報を提供（情報提供者数 1,000人）</p>	◎	◎	<p>・63万人&lt;◎&gt;</p> <p>・京都丹波まるごとスタジアム会議準備会を設立&lt;◎&gt;</p> <p>・4コース（スイーツウォーク、かやぶきウォーク×土産、ツリークライミング×足湯ツアー、ジュニアトライアスロン）&lt;◎&gt;</p> <p>・スポーツ観光情報の集約と一元化（ポータルサイト基本設計）&lt;◎&gt;</p> <p>・スポーツ観光情報媒体「スポーツ三昧京都丹波」作成&lt;◎&gt;</p> <p>・府、管内市町、教育委員会、体育協会、競技団体等で構成する「京都丹波トライアスロン大会実行委員会」を設置し、平成27年7月5日南丹市八木地域での大会開催を決定 ジュニアトライアスロン教室2回、美脚ウォーク2回実施&lt;◎&gt;</p> <p>・美山自転車イベント2件で観光パンフレットを1,000部以上配布&lt;◎&gt; 5/25（日）京都美山サイクルロードレース2014 8/3（日）美山サイクルグリーンツアー</p>

## 平成26年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況

運営目標	目標の内容	達成区分		小項目の達成状況（数値目標の実績値・達成率）及び【未達成の要因・理由】		
			細目			
	<p><b>①医療、保健、介護、福祉のサービスを一体的に提供する取組を推進</b></p> <p>&lt;ネットワークの強化&gt; 医療、保健、福祉、介護の様々な分野に所属する人たちの顔の見える関係づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なんたん地域連携研究会の成果を充実発展させるため、新たに京都地域包括ケア推進機構や市町及び医療機関等と連動した連携システムの充実を図り、人材育成支援やネットワークの強化を推進【新】</li> </ul> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px;">                 南丹地域包括支援センター連絡協議会の設置                  医療機関等連携会議における病病連携の促進                  なんたん地域連携研究会の実施             </td> <td style="padding: 5px;">                 参加する機関数                  (100機関、                  参加者延べ300名)             </td> </tr> </table> <p>(メーリングリストの登録者数 延べ170名)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「緩和ケア研究会」を通じて豊かな生と死に向き合えるよう支援できる地域づくりの推進（「緩和ケア研究会」参加者数 延べ300名）</li> </ul> <p>&lt;基盤整備の促進&gt; 入所待機者の減少を図り高齢者支援の充実を図るため介護施設等基盤整備を促進（第5期介護保険事業計画最終目標の達成）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別養護老人ホームの増床整備 (延べ120床)</li> <li>・グループホームの整備 (延べ9名×3カ所)</li> <li>・あんしんサポートハウスの整備 (延べ90床)</li> </ul> <p>&lt;認知症対策の推進&gt; ・認知症患者医療センターを核にした認知症対策の充実【新】 (なんたん認知症支援ネットの設置)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のNPO法人等と連携した認知症予防事業の実施【新】 NPO法人等と連携したロコモ（運動器症候群）予防及び脳トレ（脳力アップトレーニング）の実施（参加者数延べ200名）</li> </ul> <p>&lt;地域リハビリテーションの充実&gt; ・地域リハビリテーション支援センターの機能を充実し、協力病院の活動を強化（協力病院会議の開催 2回）</p> <p>&lt;介護・福祉人材の確保&gt; ・地域の人材を掘り起こし、介護・福祉事業所の人材確保を図るため、福祉職場就職フェア（京都丹波地域版）を開催 (参加者数 延べ70名)</p>	南丹地域包括支援センター連絡協議会の設置 医療機関等連携会議における病病連携の促進 なんたん地域連携研究会の実施	参加する機関数 (100機関、 参加者延べ300名)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・京都丹波地域包括支援センター連絡会議（H27.3.2 7センター32名参加）</li> <li>・医療機関等連携会議（H27.3.9 15機関34名参加）</li> <li>・なんたん地域連携研究会 210名 119機関（4/5、8/2、1/31）</li> <li>・なんたん地域連携研究会 メーリングリスト 登録者数延べ人数（延べ170名）&lt;◎&gt;</li> <li>・緩和ケア研究会 373名（6/12 123名、10/18 79名、3/14 171名）</li> </ul> <p>&lt;基盤整備の促進&gt;（着工ベース）</p> <p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別養護老人ホームの増床整備（延べ99床：83%）</li> <li>・グループホームの整備（延べ9名×5カ所：167%）</li> <li>・あんしんサポートハウスの整備（延べ120床：133%）</li> </ul> <p>&lt;認知症対策の推進&gt; ・なんたん認知症支援ネット（南丹地域包括ケア推進ネット）の設置（H26.6.1）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南丹地域包括ケア推進ネット連絡会議（7/10 9/16 12/18）</li> <li>・京都丹波オレンジロードつなげ隊企画会議（10/31）、 広報啓発活動：EXP02014inかめおか（11/30）</li> <li>・NPO法人等と連携した認知症予防事業の実施 認知症予防講座3回（9/14 9/27 10/4）のべ105名参加、</li> <li>・ロコモ予防及び認知症予防講座 3/5 参加者計55名</li> </ul> <p>・地域リハビリテーション 協力病院会議 1回目（6/13）、2回目（12/2）実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者数 延べ36名 （9/20 ガレリアかめおかにて開催 参加法人17法人、採用実績5名）</li> </ul>
南丹地域包括支援センター連絡協議会の設置 医療機関等連携会議における病病連携の促進 なんたん地域連携研究会の実施	参加する機関数 (100機関、 参加者延べ300名)					

## 平成26年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況

運営目標	目標の内容	達成区分	
		細目	小項目の達成状況（数値目標の実績値・達成率）及び【未達成の要因・理由】
<p>2 だれもが安心して健やかに暮らし、支え合う「京都丹波」づくりを推進します。</p>	<p>②新スタジアム整備を契機に健康長寿の京都丹波地域をめざす</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地場野菜を活用し、事業所や大学とタイアップした食情報の提供や、野菜豊富な給食の取組などの食を通じた健康づくりを推進【新】（5カ所）</li> <li>・地域において健康づくりに取り組むリーダー養成など自主活動グループへの支援（「なんたん元気づくり体操」普及リーダー養成 延べ30名） （食生活改善推進員への支援 研修会参加 延べ50名） （歩こう会グループへの支援 交流会参加 延べ50名）</li> </ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・けんこう食堂化 5ヶ所で実施&lt;◎&gt;</li> <li>・なんたん元気づくり体操リーダー養成 36名&lt;◎&gt;</li> <li>・食生活改善推進員への支援 研修会参加者 計67名（第1回35名 第2回32名）&lt;◎&gt;</li> <li>・歩こう会グループの支援 交流会参加 ウォーキングイベント 11/14 55名参加&lt;◎&gt;</li> </ul>
	<p>③がん・生活習慣病予防に有効な啓発や環境整備の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防煙（がん予防）教室を管内小・中学校で実践【新】 （防煙（がん予防）教室を実施する小・中学校3校）</li> <li>・各学校で自主的に防煙（がん予防）教室を行うための指導者を育成 （防煙（がん予防）教室の指導者育成7校）</li> <li>・商工会や労働基準協会と協働して、事業所の検診や健康づくりについて出前講座を実施（出前講座を実施する事業所 5事業所）</li> <li>・イベントでのがん検診受診の啓発 （各イベントでのがん検診受診の啓発 5回）</li> <li>・歯科診療所において歯周病予防や卒煙支援を実施 （歯周病予防や卒煙支援を実施する歯科診療所 7診療所）</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防煙教室 小学校5校、中学校2校&lt;◎&gt;</li> <li>・防煙教室指導者育成 9校（小学校2校、中学校2校、高校5校）&lt;◎&gt;</li> <li>・事業所出前講座 5事業所&lt;◎&gt;</li> <li>・イベントでのがん検診啓発 6回&lt;◎&gt;</li> <li>・歯科診療所での卒煙支援 8診療所&lt;◎&gt;</li> </ul>
	<p>④地域における在宅療養児の支援体制を整備【新】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門家による巡回相談（家庭及び施設）（巡回相談に必要な要支援者に100%支援）</li> <li>・保護者が地域で孤立をしないように支援（親子交流会の開催 3回） （情報だよりの発行 2回）</li> <li>・従事者の質を高めるための事例検討会等を通じ関係者のネットワークを強化（事例検討会等参加者 延べ20名）</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巡回相談 対象者なし</li> <li>◎ 交流会 5回（情報だより 4回発行）&lt;◎&gt;</li> <li>・ネットワーク会議 1/21 22名参加&lt;◎&gt;</li> </ul>

## 平成26年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況

運営目標	目標の内容	達成区分	
		細目	小項目の達成状況（数値目標の実績値・達成率）及び【未達成の要因・理由】
	<b>⑤発達障害児支援の充実</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「5歳児健診」等健診後のフォローとして専門医や臨床心理士を保育園等へ派遣（保育園等への派遣 要支援者に対し100%実施）</li> <li>・幼児期から就学後支援のスムーズな移行に向けた研修会の開催（支援ファイル・移行支援シートの普及） （研修会の実施 参加者数 延べ50名）</li> <li>・子どもの理解を深め養育の自信を高められる環境づくり（ペアレントトレーニングの普及）【新】 （保護者へのペアレントトレーニング普及講座の開催 延べ50名） （保育所、幼稚園、学校関係者へのペアレントトレーニングの実施 延べ50名）</li> <li>・学童期の発達障害児へのコミュニケーションスキル等社会性を習得するための訓練（SST）を、支援団体と連携・協働して平成25年8月から平成26年度7月の期間で実施 （事業期間での集団指導（SST）の実施 延べ180名）</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要支援者への派遣 100%&lt;◎&gt;</li> <li>・支援ファイル研修会等 2/19南丹市コーディネータ研修会等 46名&lt;○&gt;</li> <li>・保護者へのペアトレ 132名&lt;◎&gt;</li> <li>・関係者へのペアトレ 245名&lt;◎&gt;</li> <li>・NPO法人発達障害を考える会ぶどうの木（事業委託） 集団指導（SST）の実施 H25（H25.8.1~3.31）延べ119名 H26（4/1~7/31） 55名</li> <li>・NPO法人発達障害を考える会ぶどうの木（独自実施） H26（11/8~1/24） 60名 合計 延べ234名</li> </ul>
	<b>⑥児童虐待防止を推進する</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村職員や子育て支援者等の資質向上のための研修会等を開催するとともに、府民への街頭啓発を実施 （研修会参加者 延べ120名）</li> </ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会等の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>7月 南丹府内地区民生児童委員人権研修会 208名 「児童虐待防止に向けて」地域での見守りと支援について」 講師：NPO法人きょうとCAP 麻田 智壽子 氏</li> <li>10月 主任児童委員と各町民児協役員との懇談会 34名 「情緒障害児とひきこもりの若者への生活支援について」 講師：（社福）るんびに学園 施設長 高橋 正記 氏</li> <li>11月 丹波ロードレース等での児童虐待防止啓発 7名</li> <li>3月 児童虐待防止医療・保健・教育連携強化研修 47名 参加者等 延べ 296名</li> </ul> </li> </ul>

## 平成26年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況

運営目標	目標の内容	達成区分		小項目の達成状況（数値目標の実績値・達成率）及び【未達成の要因・理由】
			細目	
	<p><b>⑦</b>社会全体による子育て応援の気運づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における子育て情報を子育てサークル等に冊子等として情報提供するため、イベント等を実施する協力企業等を開拓【新】 （子育て支援協力企業・団体 20企業等）</li> <li>・子育て家庭が地域の身近なところで気軽に相談や交流ができるよう、子育てサークルや子育て支援者の育成、ネットワークづくりを推進 （研修、交流会の参加者 延べ90名）</li> </ul>		◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て情報冊子の作成 24企業・団体を掲載し配布済み（10月）</li> <li>・子育て支援研修会・交流会の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>10月9日 子育て支援サークル座談会 35名</li> <li>12月22日 第1回なんたん子育て支援ステップアップ講座 60名</li> <li>3月6日 子育て支援サークル交流会 25名</li> </ul> </li> </ul>
	<p><b>⑧</b>障害者への就労を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なんたん障害者就業・生活支援センターをはじめ、ハローワーク、京都ジョブパーク等と連携した障害者の新規就労創出 （新規一般就労 35名）</li> <li>・就労中の障害者の職場定着を促進するため、「交流サロン“ぷらっと”」の開催や生活支援サポーター「わくわくワーク応援団員」による相談支援を実施 （定着率 88% (31/35)）</li> <li>・圏域内企業に対して、障害者雇用への理解を促進するため、経営者等を対象としたセミナーを実施 （セミナー参加 ㉔延べ16社 → ㉕延べ20社）</li> <li>・障害者の雇用確保を図るため圏域福祉事業所との交流会を開催【新】 （交流会参加事業所 延べ10事業所）</li> </ul>		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規一般就労者数は年度末時点で集計 30名 &lt;△&gt;</li> <li>・障害者の職場定着 82% (26/29) &lt;○&gt;</li> <li>・障害者雇用の理解促進 セミナー参加者 &lt;◎&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>10月2日 企業と福祉関係機関との交流会 9社</li> <li>2月21日 就労支援セミナー 15社</li> </ul> </li> <li>・福祉圏域事業所との交流会 <ul style="list-style-type: none"> <li>7月3日 就労支援事業所担当者会議 9事業所 90% &lt;○&gt;</li> </ul> </li> </ul>
	<p><b>⑨</b>障害者の収入増大に向けた「ほっとはあと製品」の販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所における経営力、販売力向上のための専門家による指導やセミナー等を開催 （セミナー等参加者 延べ75名）</li> <li>・イベントへの積極的な出店、カタログを活用した企業へのPR、ホームページの作成等広報・宣伝の強化による商品認知度の向上 （管内事業所の平均工賃 18,000円）</li> </ul>		◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門家による指導、セミナー等 &lt;◎&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>5月23日 めくもり京都丹波お披露目会 31名</li> <li>12月14日 五六市（枚方市）市場運営指導 10名</li> <li>1月16日 めくもり京都丹波認定審査会 30名</li> <li>2月24日 ほっとはあとセンターブロック全体会 18名 延べ89名</li> </ul> </li> <li>・平均工賃 18,023円 &lt;◎&gt;</li> </ul>

## 平成26年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況

運営目標	目標の内容	達成区分		小項目の達成状況（数値目標の実績値・達成率）及び【未達成の要因・理由】
			細目	
3 「森の京都」づくりを推進します。	<p>① 「森の京都」づくりの推進母体となる「森の京都」推進会議（仮称）」を設置します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森の京都の構想から実践までを行う、住民、有識者、行政等による組織の設置 「森の京都」行動計画の策定 「森の京都」ロゴマーク決定（公募）</li> <li>・新たな国立公園の指定に向け、森林関係者をはじめとする地元調整や観光も含めた維持、利用促進が円滑に進むよう、協議の場づくりを図ります。（4回）</li> </ul>	○		<p>（本庁記載項目）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規国立公園について、関係機関、地元住民等への説明等をほぼ完了し、京都府申出案に対する関係市町への最終の意見照会を27年4月に実施予定。6月頃に環境省へ申し出し、28年3月末までに指定の予定</li> </ul>
	<p>② 「森の京都」をより多くの府民に知ってもらい印象づけるために、「京都丹波森の恵み」である地域産木材と木質バイオマス資源の需要拡大に向けた取組を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・丹波自然運動公園に整備するトレセンでの活用や地域木材の常設展示による「見える化」を実現し、「木の文化」を発信 （展示場 2カ所設置）</li> <li>・地元木材を使った「森の京都」の案内板を道の駅等に設置。 （案内板 10カ所設置）</li> <li>・集成材の普及啓発のため、京都伝統工芸大学校や「京の匠」塾とのコラボレーションで集成材の新用途の開発。 （新用途開発 3種類）</li> <li>・木質バイオマスの普及啓発のため、関係者による利用推進会議の開催、先進地視察（林業関係等木質バイオマス生産者、木質バイオマス利用団体、学識経験者、行政等）及び普及啓発パンフの作成。 バイオマス利用推進会議開催 2回 先進地視察調査 1回 木質バイオマス普及啓発パンフ 3, 000部作成配布</li> <li>・林地残材や製材後の端材を使った木質バイオマス資源の商品化、木質バイオマスの利用拡大。（前年度の検討会議の木質ペレット・パレットの実証結果を反映） 木質バイオマス利用量 700t</li> <li>・地元木材を使った木質ペレット及びチップの利用拡大のため、木質バイオマス導入シミュレーションの管内の宿泊施設（民間）での実施と木質バイオマスストーブの設置 バイオマス導入シミュレーション 5施設で実施 木質バイオマスストーブ 2カ所設置</li> </ul>	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・（展示場 3カ所設置）&lt;◎&gt; るり溪少年自然の家クラフト棟木造、トロッコ亀岡駅木質内装化 丹波自然運動公園トレセン木造（調達木材発注）</li> <li>・（案内板 4カ所設置）&lt;△&gt;</li> <li>・（試作品 3種類）&lt;◎&gt;</li> <li>・（推進会議 2回）&lt;◎&gt; 京丹波町森林資源解析会議(7/30)、木質バイオマス利用事例報告会(11/13) （先進地調査 3回）&lt;◎&gt; グリーンランドみずほ、NPO美山里山舎、美山ウッドエンジニアリング （普及啓発パンフ 17,698部配布）&lt;◎&gt; 機関誌「南丹・京丹波の林業（特集）木質バイオマス」</li> <li>・（木質バイオマス利用量 790t）&lt;◎&gt; パレット、燃料ペレット製造等</li> <li>・（導入シミュレーション 5施設）&lt;◎&gt; 地域熱供給モデル地区のシミュレーション （京丹波町1地区、5施設含む・小中学校・特養ホーム、保育園、公民館）</li> <li>（木質バイオマスストーブ 2カ所設置）&lt;◎&gt; るり溪少年自然の家、園部庁舎</li> </ul>

## 平成26年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況

運営目標	目標の内容	達成区分	
		細目	小項目の達成状況（数値目標の実績値・達成率）及び【未達成の要因・理由】
	<p>③豊かな森の資源を活用するため、プランナーの育成や森林経営計画の策定支援により、間伐材生産量を増加させ、木材の利用拡大を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林施業プランナーの資質向上と作業技能者の技術養成を図り、作業の低コスト化や効率化の促進。 GIS・GPS等による森林管理技術と森林作業道作設技術のための研修会開催 延べ6回</li> <li>・需要拡大と地域での雇用拡大を図るため、地域産木材の集成材加工、地域での製材加工施設の導入を支援。 府内産木材利用の増加量(原木) 2,400m<sup>3</sup>/年</li> <li>・路網整備と機械化により搬出間伐を促進するため、森林経営計画の策定を支援。 森林経営計画認定面積 28,000ha (26年度末管内カバー率30%)</li> <li>・市町、森林組合等と連携し、森林施業の集約化を地域に提案し、搬出間伐と間伐材等の木材資源を公共施設や住宅資材としての利用促進するため、材の搬出と流通・加工の円滑化を支援。 間伐材生産量 46,000m<sup>3</sup></li> </ul>	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(研修会開催 延べ6回) &lt;◎&gt; 森林管理技術研修(5/8, 5/23, 6/27, 9/19, 12/12) 作業道作設研修 (6/13)</li> <li>・(府内産木材利用の増加量 2,700m<sup>3</sup>/年)&lt;◎&gt;</li> <li>・(森林経営計画認定面積 23,327ha(カバー率25%))&lt;△&gt;</li> <li>・(間伐材生産量 38,000m<sup>3</sup>)&lt;△&gt;</li> </ul> <p>【未達成の要因・理由】 森林経営計画の策定を進めるためには、小規模所有森林をとりまとめ団地化を図る必要がある。そのための重要な情報を得るための地域の協力体制がとれず、森林境界の明確化作業が困難となっているため。</p>
	<p>④生き生きと生活できる山すそ地域づくりを展開します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特産物育成や都市農村交流などに挑戦する「山すそ興し」運動を京都丹波全域で展開。 新たな集落活動を始めるモデル集落の創設 3集落</li> <li>・京都丹波「山すそ興し研究大会」への参加集落の増加。 参加集落 50集落</li> </ul>		◎

## 平成26年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況

運営目標	目標の内容	達成区分		小項目の達成状況（数値目標の実績値・達成率）及び【未達成の要因・理由】
			細目	
4 「食と森の交流の都」のセカンドステージを展開します。	<p>①生き抜く知恵を育む田舎で行う子どもをターゲットとした教育体験旅行を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農家に滞在し、農村や農業を体験する教育体験旅行を誘致・実施。（教育体験旅行における農家宿泊体験ガイドラインの策定や京都丹波・食と森の交流協議会、府内市町村教育委員会、私立学校連合会、大手旅行会社等と連携）</li> <li>・教育体験旅行の受入 30団体 2,000人（うち農家滞在3団体200人）</li> <li>・教育民泊受入農家の拡大 3地区 75戸確保</li> </ul>		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育体験旅行の受入 28団体(93%)・1,996名(100%) &lt;○&gt;</li> <li>・教育民泊受入農家の拡大 3地区 50戸確保(84%) &lt;△&gt;</li> </ul>
	<p>②京阪神の住民向けに食の安心・安全や健康をキーワードに交流の拡大を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農家組合と宿泊施設の連携や空き家の活用等、滞在型の市民農園や田んぼのオーナー制（京都丹波交流型クラインガルテン）の開設に向けた取組みを展開 市民農園や田んぼのオーナー制の先進事例を学ぶ研究会の開催 3回開催 延べ20名参加 京都丹波交流型クラインガルテンの事業主体（連携組織） 3組織設置 京都丹波交流型クラインガルテン募集イベント（アグリスポーツイベント）の開催 3回</li> <li>・農産物直売所の新たな顧客を開拓するため、安心・安全な直売所を巡るクイズラリーやツアーを実施 クイズラリーや直売所を巡るツアー等参加者 1,000人（実人数）</li> <li>・子どもと大人が一緒に来訪して楽しめる交流商品の子供会やスポーツ教室等に戦略的に販売 交流商品の販売数 5商品</li> </ul>	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・京都丹波交流型クラインガルテン募集イベント 10月5日・10月26日（丹波自然運動公園）、3月14日振興局開催&lt;◎&gt;</li> <li>・京都丹波交流型クラインガルテンの事業主体（連携組織） 1組織（京丹波町）(33%)&lt;△&gt;</li> <li>・市民農園や田んぼのオーナー制などの先進事例を学ぶ研究会（クラインガルテン研究会） 3回・延べ26人（視察先：舞鶴市ふるるファーム）&lt;◎&gt;</li> <li>・直売所を巡るクイズラリー・ツアー&lt;△&gt; 8月～10月クイズラリー実施。298人参加。 京野菜を巡るツアー（2回） 29人参加</li> <li>・子どもと大人が一緒に来訪して楽しめる交流商品の子供会やスポーツ教室等に戦略的に販売 交流商品の販売数 10商品&lt;◎&gt;</li> </ul>
	<p>③外国人を農村へ受け入れる環境を整えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外からの旅行者を含め、お迎えできる農家民宿の開設を促進するため、インバウンドにも対応した農家民宿等おもてなし講座を開催（専門講師を招き、開業中の農家民宿経営者や開業予定者を対象） インバウンドの受入可能な農家民宿開設数 5戸</li> </ul>		◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インバウンドの受入可能な農家民宿等おもてなし講座 新規開業5戸&lt;◎&gt; *H27・5・27～28、美山町で農家民泊により、台湾の高校30～40名を受け入れられるよう調整中</li> </ul>

## 平成26年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況

運営目標	目標の内容	達成区分		小項目の達成状況（数値目標の実績値・達成率）及び【未達成の要因・理由】
		細目		
	<p>④教育体験旅行をワンストップでコーディネートできる法人の設立を支援します。</p> <p>・教育体験旅行や農業体験旅行をワンストップでコーディネートできる「京都丹波・食と森の交流協議会」の一般社団法人化と地域限定3種旅行業の取得を支援。 京都丹波・食と森の交流協議会の一般社団法人化</p>		△	<p>・一般社団法人化に向け、組織運営体制と常勤の事務局員設置に向けた財源確保に取り組んだが十分な対応が出来ず、法人化はH27以降と協議会内で決議された。 法人化と旅行業の取得については、引き続き、目標とし、推進していくことを協議会内で確認。</p>

## 平成26年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況

運営目標	目標の内容	達成区分		小項目の達成状況（数値目標の実績値・達成率）及び【未達成の要因・理由】
			細目	
5 シニア世代や若者、外国人観光客にとって魅力ある観光地づくりを進めます。	<p>①シニア世代を中心に、若者にも魅力ある観光地づくりを促進し、閑空を含む京阪神、京都舞鶴港等多方向から観光入込客数を増やします。</p> <p>・食のおもてなしを推進するため、開発した名物料理メニュー等の情報発信・提供。（イベントでの提供とSNSの活用及び広報媒体による定着と充実） 管内イベントでの販売 3回、300食 雑誌・新聞掲載、テレビ放映 20回</p> <p>・隠れた地域資源の見直し（ロケ地取材地の聖地づくり、新たな情報誌の作成、市町、観光協会や「大丹波」等と連携した高速道路PA等での観光キャンペーン等を実施） 新しい視点（例：明智光秀に縁のある寺社仏閣等）による新観光情報誌の発行における観光資源・スポットの掲載 100件 名神高速道路等での観光キャンペーンにおけるPR（集客）人数 2,000人</p> <p>・京都丹波の知名度向上と特産品・名品の販路拡大のため、首都圏の高級スーパー等において物産イベントを開催 物産イベント開催延べ日数 7日間</p> <p>・京・里山のおもてなし「七彩駅弁」新メニューや、「京都丹波・道の駅スイーツ」等の道の駅特産品開発・販売【再掲】 七駅巡りスタンプラリーの実施（応募者1,500名）</p> <p>・「京都丹波EXPO2014 in かもおか」開催【再掲】 食や文化に加え、スポーツや健康づくりをテーマに設定し企画を充実（来場者：1.5万人）</p> <p>・プロから学生まで参加する京都丹波スイーツ選手権2014における新メニュー開発 応募数 30作品</p>	○	○	<p>・管内イベント等での販売 1,640食販売&lt;◎&gt; 【内訳】 ○イベント 3回（106食） 京都丹波観光甲子園（10月）、京都丹波EXP02014（11月） 美山かやぶきの里 一斉放水（12月） ○その他一般店舗での販売 1,534食</p> <p>・雑誌新聞の掲載 101件紹介（505%）&lt;◎&gt; ※京都新聞、読売新聞、読売テレビ、Leaf等</p> <p>・新媒体「京都丹波再発見」を作成 101件&lt;◎&gt; （隠れた資源：天鷲絨（ピロード）、天然砥石等）</p> <p>・観光キャンペーンPR人数4,000人&lt;◎&gt; 6/28（土）草津PA2,000人 8/30（土）桂川PA2,000人</p> <p>・物産イベント開催延べ日数 8日&lt;◎&gt; 大丹波マルシェ 三木SA 9/13（土）、14（日）2日間 紀ノ国屋（東京）5店舗 1/8（木）～1/13（火）6日間</p> <p>・7つの道の駅で「七彩駅弁」新メニューや「道の駅スイーツ」等の道の駅特産品開発・販売→七彩スイーツの開発・販売（12月～1ヶ月で1,700個超販売）&lt;◎&gt;</p> <p>・七駅巡りスタンプラリーの実施 応募者1,500人→1,300人 &lt;△&gt;</p> <p>・京都丹波EXPO in かもおか開催 食や文化に加え、スポーツや健康づくりをテーマに設定し企画を充実 来場者 1.5万人→1.5万人&lt;◎&gt;</p> <p>・応募数 19作品&lt;○&gt;</p>

## 平成26年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況

運営目標	目標の内容	達成区分		小項目の達成状況（数値目標の実績値・達成率）及び【未達成の要因・理由】
			細目	
6 交通アクセス向上を最大限に活かし、企業誘致活動や経営支援により、ものづくり産業を振興します。	<p>①「新京都伝統工芸ビレッジ構想」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「日本文化財保存修復センター」の整備に向けて、新光悦村等での伝統工芸の技術を活用した修復人材の育成等を推進するため、関係機関による推進協議会を開催します。</li> <li>・新光悦村をより府民に開かれたものとするため、村の職人の作品展示即売会、手作り体験、講演会など、多くの府民に参加いただける催しを実施し、活性化と交流促進を図ります。</li> </ul>		◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関、大学等と文化財修復に係る懇談会を開催</li> <li>・京都新光悦村秋まつり 11月8日（土）実施 一村の職人とその仲間たちによる作品の展示・即売会、手作り体験、ものづくり講演会など。</li> </ul>
	<p>②京都産業21、市町、商工会・商工会議所等との連携・取組強化により、企業誘致・高度化を促進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用地確保支援、支援施策の情報提供、関係行政機関とのつなぎ等を行い、立地・高度化（増設）の促進と立地企業のスムーズな操業に向けた支援を実施。 企業立地・事業高度化企業数 10件（新規立地3、増設等7） 新規雇用 100人</li> </ul>		△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立地・増設 7件(70%) &lt;△&gt;</li> <li>・新規雇用 56名(56%) &lt;△&gt; ※平成27年度において更に約40名の雇用予定</li> </ul> <p>【未達成の要因・理由】 他にも多くの引き合い・相談があったが、適切な用地がない等の理由で、進出決定までには至らなかった。今後も、管内市町と連携し、都市計画区域の変更も視野に入れた事業用地の確保や、空き工場用地の情報把握、情報提供等に努めていく。</p>
	<p>③ワンストップ機能の充実のため、企業に対する合同相談会等を実施し、行政手続きの効率化を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業立地・高度化を計画する企業に対し、関係機関合同説明会を実施。 合同相談会 5回</li> <li>・南丹広域振興局産業立地促進プロジェクトチーム内における連絡会や情報共有を促進。 プロジェクトチーム内連絡会・情報共有 7回</li> </ul>		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合同相談会の開催は0回（0%）。</li> <li>・プロジェクトチーム内連絡会・情報共有 5回実施（71%）</li> </ul> <p>【未達成の要因・理由】 今年度については、各企業からの希望により個別対応を行ったが、府・市町の各機関とも、これまでの合同相談会の経験から円滑な対応を行うことができた。今後もプロジェクトチームの連絡会などを活用し、各機関の対応力を向上させるとともに、必要に応じ迅速に合同説明会を開催したい。</p>

## 平成26年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況

運営目標	目標の内容	達成区分		小項目の達成状況（数値目標の実績値・達成率）及び【未達成の要因・理由】
			細目	
	<p>④既に立地操業している企業ニーズに沿った課題解決や支援に取り組むことにより、企業の経営安定・経営改善に役立ててもらい、雇用安定など地域経済の維持、増進を図ります。</p> <p>・新たな企業間連携や事業創設につながるよう意見交換・情報交換会を開催し、管内企業のネットワーク化を図ります。 意見交換・情報交換会参加企業数 延べ100社</p> <p>・ものづくり企業等の個別ニーズにきめ細かく対応するため、振興局、市町、商工会議所、商工会に京都産業21を加えた独自の「京都丹波ものづくり企業応援活動」を展開します。 訪問件数 180回</p> <p>・京都府認証制度（経営革新計画・元気印中小企業認定制度・知恵の経営報告書）の認定取得による中小企業の経営改善。（認証制度説明会及び認証制度取得企業による事例発表会を実施し、認証制度への取組を促進） 認証制度取得事業所 10件</p> <p>・企業の経営安定・経営改善を目的とした投資計画策定等を支援（「ものづくり企業支援事業説明会」の開催） ものづくり企業による補助制度申請件数 30件 「ものづくり企業支援説明会」 3回</p> <p>・中小企業応援隊の活動充実を図るため、目標や課題等の検討を行う中小企業応援隊地域連絡会議を実施。 中小企業応援隊地域連絡会議参加経営支援員数 延べ60人（定数19人）</p>			<p>・意見交換・情報交換会参加企業数 65社（65%）＜△＞ （亀岡市・南丹市において、計3回意見交換会を実施。京丹波町は、27年度に実施予定。今後も、市町、応援隊等と協力し、管内企業のネットワーク化を図っていく。）</p> <p>・企業訪問件数 110回（61%）＜△＞ ※10月1日に職員1名減</p> <p>○ 認証制度取得事業所 0件＜△＞ （認証に向けて相談対応中のものがあるが、年度内に認証までには至らなかった。認証取得を推進するため、認証制度等をPRする経営アシストセミナーも実施した（参加者34名）。今後とも、応援隊と連携して制度の魅力を企業側に伝えるとともに、ハンズオン支援を充実させ、制度の活用をサポートしていく。）</p> <p>・ものづくり企業による補助制度申請件数 28件（93%）＜○＞</p> <p>・ものづくり企業支援説明会 3回（100%）＜◎＞</p> <p>・地域連絡会参加経営支援員数 57人（95%）＜○＞</p>

## 平成26年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況

運営目標	目標の内容	達成区分		小項目の達成状況（数値目標の実績値・達成率）及び【未達成の要因・理由】
			細目	
<p>6 交通アクセス向上を最大限に活かし、企業誘致活動や経営支援により、ものづくり産業を振興します。（府民生活、地域産業を支える道路とそのネットワークの整備を推進します。）</p>	<p>①京都縦貫自動車道（丹波～京丹波わち間）の整備促進等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広野綾部線（工事用道路としての整備支援）</li> <li>・丹波PAに併設される京丹波町の地域振興拠点施設へのアプローチ道路と松山須知線との交差点（改良工事の完成）（地域主導型公共事業）</li> </ul>	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・広野綾部線：工事用道路としての整備支援実施中</li> <li>・松山須知線：交差点改良工事完成</li> </ul>
	<p>②地域活性化のため、大阪経済圏と直結する道路の整備推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道423号法貴バイパス（測量・設計等の調査の推進）</li> <li>・枚方亀岡線（歌留多～千歳工区）（調査、設計の実施）</li> </ul>		◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道423号（法貴バイパス）：地形測量終了、道路予備設計実施、道路詳細設計及び橋梁予備設計に着手</li> <li>・枚方亀岡線（歌留多～千歳工区）：土地調査、道路概略設計実施</li> </ul>
	<p>③国道9号等の幹線道路へのアクセス道路の整備推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・亀岡園部線保津南工区（工事の完成）</li> </ul>		◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・亀岡園部線（保津南工区）：工事完成（5月10日供用開始）</li> </ul>
	<p>④府県間・地域間を結び、地域観光等、地域振興に寄与する道路の整備推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道372号（湯ノ花工区）（工事の完成）</li> <li>・亀岡園部線（千歳北工区）（事業の推進（埋蔵文化財調査の支援及び工事の推進））</li> <li>・郷ノ口余部線宇津根橋（用地買収に着手、一部工事に着手）</li> <li>・国道477号（西田大藪道路）（用地取得に着手）</li> <li>・綾部宮島線（脇谷BP）（調査・設計に着手）</li> <li>・宮前千歳線（鳴滝工区）（工事の推進）</li> <li>・京都広河原美山線（内久保BP）（用地取得の推進）</li> </ul>		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道372号（湯の花工区）：工事完成（4月30日供用開始）</li> <li>・亀岡園部線（千歳北工区）：埋蔵文化財調査実施</li> <li>・郷ノ口余部線（宇津根橋）：左岸側の用地測量及び地権者への計画説明を実施</li> <li>・国道477号（西田大藪道路）：用地買収に着手</li> <li>・綾部宮島線（脇谷バイパス）：調査・設計に着手</li> <li>・宮前千歳線（鳴滝工区）：工事推進</li> <li>・京都広河原美山線（内久保バイパス）：用地取得推進、工事実施</li> </ul>
	<p>⑤地域の実情に合わせた1.5車線の道路整備の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京丹波三和線（和田工区）（人家連担区間の工事の推進）</li> <li>・中地日吉線（中世木工区）（一連工区の完成及び計画の延伸）</li> </ul>		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・京丹波三和線（和田工区）：人家連担区間の工事の推進</li> <li>・中地日吉線（中世木工区）：一連工区の概成、延伸部の詳細設計の実施</li> </ul>

## 平成26年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況

運営目標	目標の内容	達成区分		小項目の達成状況（数値目標の実績値・達成率）及び【未達成の要因・理由】
			細目	
7 ものづくり産業の振興を図るため、地元での人材育成・確保に努めます。	<p>① 京都丹波地域の就業希望者（中途採用、パートを含む）の就職と、雇用ニーズが高いものづくり企業の人材確保のための取組（南丹ジョブカフェ(仮)）を実施します。 （就活セミナー、保活セミナー、就職相談、会社紹介コーナー（採用希望のある管内ものづくり企業の会社概要を掲示）等の開催）</p> <p>・南丹ジョブカフェ 参加者数 200人（内女性数50人）</p>		△	<p>・南丹ジョブカフェは、未開催</p> <p>【未達成の要因・理由】 雇用情勢が変化し、企業の手不足感が強まってきたことを受け、南丹ジョブカフェに代え、企業の募集、採用、定着、育成等について効果的な対策を行うための、企業対象のセミナーを3回開催した。</p>
	<p>② 企業ニーズの高い、地元でのものづくり人材の育成・確保を推進します。</p> <p>・平成27年度に工業系列が開設される南丹高校と、京都中部ものづくり教育パートナー企業との連携を促進。（インターンシップ、企業見学会、企業人講師の派遣等について、企画・調整） 南丹高校の企業インターンシップ、企業見学、企業からの講師派遣 10回</p> <p>・中学生のものづくりに対する興味の醸成（学校による取組が難しい職場体験受入企業の開拓・確保） 中学生の職場体験を受け入れるものづくり系事業所の登録 20社</p>	△	○	<p>・南丹高校ものづくり教室・オープンキャンパス等への地元企業の参画支援、企業からの講師派遣等の支援 7回</p> <p>・中学生の職場体験を受け入れるものづくり系事業所の登録 28社（140%）</p>

## 平成26年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況

運営目標	目標の内容	達成区分		小項目の達成状況（数値目標の実績値・達成率）及び【未達成の要因・理由】
			細目	
8 企業的な感覚を持つ農業経営者を育成します。	<p>① 企業の農業経営者を育成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニューファーマー（就農5年未満の若手農業者）と事業者との商談会を開催し、契約締結による農業ビジネス化を進め、市町の掲げる認定農業者に準じた所得を獲得できる農業経営者に育成。            事業者との販売契約数 6件            認定農業者に準ずる所得を獲得できる農業経営者数 6戸</li> <li>・大規模農業経営を目指す若い認定農業者が持つ多様な課題を経営分野の高度な知識を有する専門家を活用しながら解決し、所得目標を実現。            売上げ1,000万円以上を実現する認定農業者数 4戸</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニューファーマー3人が京都生協二条店、1人が東京の業者と契約し販路開拓を実現。(66%)&lt;△&gt;</li> <li>・1戸が認定農業者に準じる所得に達した。(17%)&lt;△&gt;</li> <li>・認定農業者1戸が売上げ1,000万円に達する見込み。(25%)&lt;△&gt;</li> </ul> <p>【未達成の要因・理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6名のうち、1名は新たな販路も確保でき所得200万円を超えたが、他の5名は本人の健康上の理由や台風等の不測の事態が発生したため計画とおりの所得が得られなかった。            （病気の悪化が1名、台風による農地浸水、ハウス倒壊が1名、電気関係の申請後の事務処理の遅れから経営開始が9月（当初6月）に遅延が1名、残り2名（両名とも女性1名で経営）は契約的な販路は確保出来ていたものの労力不足で目標所得に達しなかった。）</li> <li>・1名は売り上げ1,000万円を達成したが、他の3名は米価下落の影響等により目標に届かなかった。            （1名（露地野菜ネギ）は家庭の事情により帰郷し、離農（2年連続の台風で被災し、借りられる農地は水が浸く農地が多い実態はあった）。1名（米農家）は米価下落の影響を受け売り上げが減少した。1名（施設園芸）は、地域稲作を担っており、定植・収穫時期に施設園芸に手が回らず、売上結び付かなかった。</li> </ul>
	<p>② 年商1億円を目指す農企業家が育つ農起業経営アカデミー（仮）の開設準備を進めます。【再掲】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・優れた経営を実践する農企業家の育成を目的に、学びとネットワークの場づくりに向けた取組を展開。（振興局、農林水産技術センター、京都学園大学、農業団体で協働）            27年度の開講に向け、入講生 10名確保</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 現在農起業塾として講師候補者、受講候補者リストを作成し、開設準備を進めている。</li> </ul>

## 平成26年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況

運営目標	目標の内容	達成区分		小項目の達成状況（数値目標の実績値・達成率）及び【未達成の要因・理由】
			細目	
	<p>③京力農場プランの作成を推進します。</p> <p>・地域農業で中核となる担い手の規模拡大や集積支援するため、京力農場プランの作成を実現。（特に亀岡市の国営ほ場整備地区の6工区では全工区でプラン策定ができるよう取組の重点化） 京力農場プラン作成 20件 各工区の中で、新たに1件以上のプラン作成</p>		△	<p>・亀岡市で1カ所、京丹波町6カ所の計7カ所で作成済。＜△＞</p> <p>・亀岡市の国営ほ場整備地区6工区全てにおいて、プランの説明を行い作成に向けて誘導したが、作成作業に入っているのは3工区。＜△＞</p> <p>【未達成の要因・理由】 ○プラン作成地区内での意見集約に手間取っているケースや地区内での意見が統一できずに先送りされたケースもあり、目標数を下回った。 また、国営の工区については、地区ごとの話し合いが緒に就いたところであり、プラン作成に至らなかった。</p>
	<p>④集落型法人の経営改善を進めます。</p> <p>・京力農場プランを作成したが将来的に経営状態が危惧される10以上の集落型法人について経営改善目標と計画を策定し、目標達成に向けて実行するための伴走支援。 前年より売上げが増加する集落型法人 4法人</p>		○	<p>・3法人（ほづ、みとけ、旭）は売上げ増加。 経営に占める米の割合の大きいぬ法人は米価下落の影響で売上げ減少。</p>
	<p>⑤農業者と商工業者によるマッチングを通じ商品開発を進めます。</p> <p>・南丹アグリネット会員の農業者と商工業者の交流等を深めてマッチングを行い、新たな農工商連携の取引に繋げる。（南丹アグリネットをプラットフォームとした小サロンの開催） 農業者と商工業者による新たな商品開発 3件</p>		◎	<p>・農業者と商工業者による新たな商品開発として、チョコログ酒、食用ほうずきを使った加工食品、京都熟成ビーフの開発が始まった。</p>

## 平成26年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況

運営目標	目標の内容	達成区分		小項目の達成状況（数値目標の実績値・達成率）及び【未達成の要因・理由】
			細目	
9 地域特産物づくりや地産地消を進め、農山村地域の活性化を目指します。	<p><b>①</b>生き生きと生活できる山すそ地域づくりを展開します。【再掲】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特産物育成や都市農村交流などに挑戦する「山すそ興し」運動を京都丹波全域で展開。 新たな集落活動を始めるモデル集落の創設 3集落</li> <li>・京都丹波「山すそ興し研究大会」への参加集落の増加。 参加集落 50集落</li> </ul>		◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モデル集落の創設3集落 (亀岡市神前、南丹市園部町口人、京丹波町仏主) &lt;◎&gt;</li> <li>・京都丹波「山すそ興し研究大会」参加集落 97集落&lt;◎&gt;</li> </ul>
	<p><b>②</b>地域の栽培技術力を活かした特産物づくりを進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の栽培技術力を活かした集落ぐるみで行う丁寧なものづくりによる京都丹波らしい特産物生産の拡大。(関係機関、農業者等へ積極的に働きかけ、中山間地域で需要に対応した特産物づくりを支援) 需要対応型特産物生産支援事業の導入地区数 30カ所</li> </ul>		△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入地区数 17カ所&lt;△&gt;</li> </ul> <p>【未達成の要因・理由】</p> <p>○積極的な働きかけを行ったが、結果として地区数は目標を下回った。ただ、府全体の予算額の約4割を南丹管内で執行した。</p>
	<p><b>③</b>京都丹波の地産地消を促進し農山村の活性化を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おいしい食の応援隊の実施地区を広げ、都市部の消費者に京都丹波の農産物の調理法を知ってもらうことで地産地消も推進。 (地区の食材を活かした料理講習会を直売所などで開催) おいしい食の応援隊料理講習会参加者(都市部の消費者) 50名</li> </ul>		◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おいしい食の応援隊料理講習会参加者(都市部の消費者) 55名&lt;◎&gt;</li> </ul>
	<p><b>④</b>農作物被害を軽減する野生鳥獣被害対策を展開します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農地や森林を守る公益的な捕獲活動の担い手確保を進めるとともに、被害の大きい集落等にターゲットを絞り、必要な恒久防護柵の設置を促進する地域防災力キャラバンを実施。(狩猟の魅力を知ってもらうセミナーの実施) 恒久防護柵設置に向けた重点調査集落数 15集落 「狩猟が見える」セミナー(仮称)の開催 1回</li> <li>・更なる捕獲圧を強化するため、生息密度が高い地域や近隣府県・市町域を超えた広域捕獲を重点的に実施。 広域有害捕獲 14回</li> </ul>		○ ◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・恒久防護柵設置に向けた重点調査集落数 15集落&lt;◎&gt; 調査に必要な図面等を準備中であり、年度末までには10集落で実施する予定</li> <li>・「狩猟が見える」セミナーの開催 1回&lt;◎&gt; 2月21日実施</li> <li>・広域有害捕獲 15回 &lt;◎&gt;</li> </ul>

## 平成26年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況

運営目標	目標の内容	達成区分		小項目の達成状況（数値目標の実績値・達成率）及び【未達成の要因・理由】
			細目	
	<p>⑤過疎化・高齢化が進行する地域の里力再生のため、女性や若者の力を活かした農山村地域の活性化、絆づくりを推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性リーダーの活発な活動を支援し、女性の視点や力を生かした地域づくりを進める。（女性リーダー交流会の開催。（地域で活動する女性の悩みの解決方法や新たな地域づくりのヒントなどを得てもらう機会の提供）） 女性リーダー交流会参加者 50人</li> <li>・地域の拠点として廃校の利活用を進めるため、廃校活用シンポジウムを開催。 廃校活用シンポジウム参加 14校区住民</li> <li>・大学生の若者発想で取り組む「京都Xキャンプ」活動の充実、取組集落を増やし地域再生の意識高揚を図る。 取組エリアの拡大 1集落 → 3集落</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月4日に「京都丹波農村女性交流会」（於：園部町）開催 40名が参加（80%）＜△＞</li> <li>○ 9月27日「思い出の学舎活用シンポジウム」（於：質美笑楽講）開催 15校区住民が参加＜◎＞</li> <li>・8月8日～9月16日 夏季キャンプ（於：長谷区）実施 地区内9集落の児童が通う小学校にてワークショップを開催</li> <li>・2月21日～3月22日「プレみやま」（春キャンプ） （於：長谷区・下吉田区）開催 取組エリア 2集落（67%）＜△＞</li> </ul>
	<p>⑥過疎地域への移住定住を促進するため、空き家の利活用を支援 空き家見学ツアーの開催などで田舎暮らしを推進するとともに、市町が主体となり取り組む移住者向けの空き家改修を支援 移住促進住宅改修 10戸</p>		△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住促進住宅改修 7戸（70%）＜△＞</li> </ul> <p>【未達成の要因・理由】 新規定住希望者のニーズに合致する空き家物件が少なかったため。</p>

## 平成26年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況

運営目標	目標の内容	達成区分	
		細目	小項目の達成状況（数値目標の実績値・達成率）及び【未達成の要因・理由】
10 京都丹波のブランド力を生かし、農林畜産物の生産力強化と新たな産地づくりを推進します。	<p>①主産品である「みずな」の産地維持を図り、市場ニーズの高い黒大豆枝豆「紫ずきん」等の大幅な生産拡大を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規就農者を活用した法人内での作業分業化による「みずな」の出荷拡大 農業法人での「みずな」売上げ 1,000万円 新規就農者へのハウス委譲促進 5棟</li> <li>・大規模生産者に係る播種計画見直しと出荷・調整作業への機械導入により規模拡大。 「紫ずきん（京 夏ずきんを含む）」 150t出荷</li> <li>・「京 夏ずきん」の後作に「京かんざし」を組み合わせ、京野菜農家の拡大 「京かんざし」の新規導入 5戸</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人「みとけ」のみずなの売上げは約700万円の見込み。 (70%) &lt;x&gt;</li> <li>・2戸の農家から3戸の新規就農者へハウス6棟委譲 &lt;◎&gt;</li> <li>・「京 夏ずきん」と「紫ずきん2号」の出荷量は94t (63%) &lt;△&gt;</li> <li>・「京かんざし」の新規導入は5戸 &lt;◎&gt;</li> </ul>
	<p>②実需への確実な対応と契約栽培等を推進し農業所得を確保します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・酒造好適米「祝」と二条大麦「サチホゴールド」の適期管理による増収。 「祝」 面積20ha、収量80t (4t/ha) 「サチホゴールド」 面積106ha、収量150t (1.4t/ha)</li> <li>・有機農業実践者と商業者の契約栽培を進め売上げを増加。 有機年間売上げ100万円以上の農家数 16人</li> <li>・流通業者と提携したオンリーワンの新野菜等を安定生産し、直接消費者に届ける契約栽培を拡大 2法人と流通業者の契約栽培による新品种ミニトマト等の売上げ 2,000万円</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「祝」面積19.2ha、収量70tの見込み(96%) &lt;○&gt;</li> <li>・サチホゴールドは契約数量150t達成 &lt;◎&gt;</li> <li>・有機農業：京都市、長岡京市等の小売店3社と契約 5戸。 年間売上げ100万円以上の農家数15戸。&lt;○&gt;</li> <li>・新野菜は8月上旬まで順調であったが、8月大雨による冠水の影響で減収。&lt;△&gt;</li> </ul>
	<p>③工事着工に向け計画が進んでいる亀岡中部地区国営ほ場整備地区で、タスクチーム活動により黒大豆の省力機械化栽培体系と反収アップを図る技術を確認し、営農計画に反映します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒大豆面積拡大 86ha→100ha</li> <li>・黒大豆反収増 85kg→150kg</li> <li>・営農計画への反映 6工区</li> </ul>	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒大豆面積は減(76ha)。&lt;△&gt;</li> <li>・黒大豆反収は約100kg。(66%)&lt;△&gt;</li> <li>・営農計画への反映は2工区(集落数として8/20)に提案、検討中。&lt;△&gt;</li> </ul> <p>【未達成の要因・理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンバイン収穫技術の普及、2L率向上技術の普及等により作付け拡大を図ったが、既存産地で酒米や飼料米、枝豆など作業負担が少ない品目に移行したため。</li> <li>・台風や豪雨により湿害を受けたため。</li> <li>・ほ場整備完成時のほ場条件、生産体制等の状況がイメージできない中で、具体的な営農計画の策定まで至らなかったため。</li> </ul>

## 平成26年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況

運営目標	目標の内容	達成区分		小項目の達成状況（数値目標の実績値・達成率）及び【未達成の要因・理由】
			細目	
	<p><b>④</b>大粒で商品価値の高い丹波くりの生産を拡大します。</p> <p>・くり園の園地再生と虫害防止処理等のせん定等の技術講習会の開催による出荷割合の増加。            新植 1ha                      2L以上の出荷割合 6割以上</p>		◎□	<p>・新植 1ha &lt;◎&gt;            2L以上の出荷割合 7割 &lt;◎&gt;</p>
	<p><b>⑤</b>耕畜連携による畜産経営の安定と農地の有効利用を進めます。</p> <p>・耕畜連携による飼料用米、稲WCSの作付面積の増加と生産利用拡大。            稲WCS 36ha            飼料米 35ha</p>		○	<p>・稲WCS作付面積 31ha&lt;△&gt;            ・飼料用米作付面積 39ha&lt;◎&gt;</p>
	<p><b>⑥</b>国営緊急農地再編事業亀岡中部地区の事業に着手します。</p> <p>・桂川右岸の444haのほ場整備事業計画を確定</p> <p>・国営亀岡中部地区で、府・市・JAによる営農支援チームを組織し営農計画の実践を目指した京力農場プランを策定するとともに、換地計画の樹立に向けた原案策定を支援。            京力農場プラン 6工区、換地計画原案 2工区で策定</p> <p>・府営農業基盤整備事業の計画的な事業実施。            経営体育成基盤整備事業 川東地区 換地処分登記 2工区            基幹水利施設ストックマネジメント事業 新庄地区 洪水吐 1門            農山漁村活性化プロジェクト支援交付金 千歳地区            農道 L=520m            農村地域防災減災事業 大石ヶ谷池地区            取水施設 HPφ800 L=19.0m、洪水吐工 L=27.0m</p>		○	<p>・平成26年12月15日、国営土地改良事業計画の確定 &lt;◎&gt;</p> <p>・全工区でプラン作成作業継続中。&lt;△&gt;            国営事業27年度予算で換地計画原案作成見込み。</p> <p>・府営農業基盤整備事業&lt;○&gt;            川東地区：室橋工区10/29換地処分登記済、諸畑工区3/26権利者会議            新庄地区：洪水吐1門完成            千歳地区：農道工L=160m完成、L=450mについては2/6契約、着手</p> <p>大石ヶ谷池地区：取水施設 HPφ800 L=19.0m、洪水吐工 L=27.0m完成</p>

## 平成26年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況

運営目標	目標の内容	達成区分		小項目の達成状況（数値目標の実績値・達成率）及び【未達成の要因・理由】
			細目	
11 豊かな自然や地域資源、特色ある高等教育機関などを活かした人づくりや地域力再生活動を推進します。	<b>①</b> 地域力再生活動団体との協働による府民参画促進と活動支援 ・ 熟年・団塊世代の地域活動への参加を促進するための「体験講座」、「S+55京都丹波シニア博覧会」の開催 ・ 亀岡庁舎を活用し、地域団体と協働で、振興局の活動紹介や京都丹波の食などをPRする「京都丹波マルシェ（仮称）」を開催（夏・春の2回） ・ 京都丹波の盛り上げに資するプラットフォーム事業数（15件） ・ 地域力再生交付金のスタートアップ講座、フォローアップ講座（計2回）		○	・ 未開催<△> ・ 亀岡庁舎を活用し、地域団体と協働で、振興局の活動紹介や京都丹波の食などをPRする「京都丹波・振興局マルシェ」を開催（夏・春の2回）<◎> ・ 京都丹波の盛り上げに資するプラットフォーム事業数（15件）<◎> ・ 地域力再生交付金のスタートアップ講座（1回）<△>
	<b>②</b> センターの利用促進と団体間のネットワークづくり ・ センター会議室の利用件数（8,500件）、センター相談件数（2,000件） ・ センター登録団体数（250団体） ・ 地域課題の共有化や活動情報の発信等のための「京都丹波サロン」開催（3回）、センター通信発行（5回）		○	・ センター会議室の利用件数（13,411件）、センター相談件数（2,659件） ・ センター登録団体数（225件） ・ 現地視察相談会開催（6回）、センター通信発行（4回）
	<b>③</b> 大学、高等教育機関との連携事業 ・ 林業大学校や京都美術大学等の特色ある大学と京都丹波EXPO等の事業や生涯学習をはじめとした地域交流などの連携事業を展開（3事業）		◎	・ EXPOでのブース出店、スイーツ選手権（学生の部）、写ガール隊事業の計3事業<◎>
	<b>④</b> 年商1億円を目指す農企業経営アカデミー（仮）の開設準備を進めます。 ・ 優れた経営を実践する農企業家の育成を目的に、学びとネットワークの場づくりに向けた取組を展開（振興局、農林水産技術センター、京都学園大学、農業団体で協働） 27年度の開講に向け、入講生 10名確保		○	・ 現在農起業塾として講師候補者、受講候補者リストを作成し、開設準備を進めている。

## 平成26年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況

運営目標	目標の内容	達成区分		小項目の達成状況（数値目標の実績値・達成率）及び【未達成の要因・理由】
			細目	
	<p><b>⑤介護・福祉を担う次世代育成の推進</b></p> <p>・小・中学生を対象に、福祉への正しい理解と関心を高めるため、福祉事業所、社会福祉協議会、教育委員会等と連携し、福祉教育プログラムを管内で実施                      (⑭南丹市 ⑮南丹市、京丹波町 ⑯亀岡市)                      (⑭南丹市1校、⑮南丹市1校、京丹波町1校 → ⑯亀岡市1校)</p>		◎	<p>・南丹市立園部小学校4年生(81名)、園部第二小学校4年生(39名)の合計2校で実施。協力施設は7施設。                      (亀岡市内の学校については、応募校がなかったため実施せず。)                      7月に施設職員による出前講義、9月～10月にかけて管内の協力施設を訪問しての「取材」、10月中旬には、1日職場体験を実施。                      学習の成果を壁新聞にまとめた上で、12月に各校で保護者参観のかたちで学習発表会を開催。3月10日の京都府全体での「成果発表会」に参加。参加予定。</p>
	<p><b>⑥地球温暖化防止等の意識醸成</b></p> <p>・次代を担う小学生を対象とした「未来っ子温暖化防止授業」を実施し、地域の地球温暖化防止活動推進員と協力して、子どもだけでなく各家庭・地域での温暖化防止対策の広がりをめざす。                      (未来っ子温暖化防止授業 15校 管内小学校を3年間(⑭～⑯)で一巡)</p> <p>・地域の環境保全の取組の協働化を図るため、府民、環境保全団体、中小企業等に対する啓発等を実施(「廃棄物3R推進シンポジウム」の開催等)                      (啓発等 ⑮5回 → ⑯5回)</p>		◎	<p>・16校で実施&lt;◎&gt;</p> <p>◎</p> <p>・5回実施&lt;◎&gt;                      4/17 地球温暖化防止活動推進員連絡会議                      6/20 廃棄物3R推進シンポジウム                      10/25 「地域ふれあいサイエンスフェスタ2014」                      11/3 丹波公園まつり                      11/3 美山ふれあいまつり</p>
	<p><b>⑦次代を担う若者を対象におもてなしの心の醸成、人材育成を図るため、京都丹波版観光甲子園を開催(高校生、大学生、留学生等による地域の観光プランを募集)</b>                      京都丹波版観光甲子園 参加者数 30人</p>		◎	<p>◎</p> <p>・参加者数 33人(110%)                      5校(4高校、1大学)より11プラン、延べ33名の生徒学生が参加                      10月11日に京都丹波観光甲子園プレゼン・本選実施</p>

## 平成26年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況

運営目標	目標の内容	達成区分	
		細目	小項目の達成状況（数値目標の実績値・達成率）及び【未達成の要因・理由】
12 京都丹波ブランドを国内外に発信し、「オール京都丹波」で人を呼び込み、地域を元気にします。	<b>①「京都丹波ブランド新戦略」の展開</b> ・全ての職員自らが広報官としてPRを行うよう、局長をトップする「京都丹波ブランド戦略」プロジェクトチームを設置 ・振興局の愛称を「京都丹波の振興局」とし、全職員が名刺等で活用 ・若手職員の京都丹波・写ガール隊への自主的・積極的な参画（若手職員の参加10名） ・外から訪れる人のための「京都丹波ポータルサイト」開設 ・オール京都丹波の様々な情報等をタイムリーに発信する「京都丹波GUIDE」の創刊（情報誌、メルマガ兼用）（発行・発信6回）	◎	・局長をトップする「京都丹波ブランド戦略」プロジェクトチームを設置<◎> ・「京都丹波」の名称を事業名に使用する等、積極的に「京都丹波」の名前を使用。<◎> ・若手職員9名参加<◎> ・道の駅ホームページやフェイスブックの開設をはじめ、AmazingKyotoTambaや写ガール隊のフェイスブックを通じて魅力を発信<◎> ・「京都丹波ガイド」創刊・メルマガ配信 12回<◎>
	<b>②女性や若者の視点で「京都丹波・写ガール」隊が地域の魅力を再発見・発信</b> ・フェイスブックによる情報発信、女子力アップツアー、いいね！写真コンクール、CATV（ネット配信）やイベント出演などの広報大使としての活動充実、写ガール度（癒しや美容、スイーツ）から選定した「写ガールおすすめ スポット」選定（写ガール隊員倍増（12名→20名）、女子力アップツアー（5回）、年間投稿数500、いいね！写真コンクール開催、「写ガールおすすめスポット」選定）	○	・フェイスブックによる情報発信 投稿数332 現地ツアー（4回）実施、女子力アップツアー（2回）実施 写ガール来たよ！マークスタンド 17箇所設置 写ガールおすすめスポット（南丹市版）作成 <◎>
	<b>③ネットによる海外への情報発信「Amazing KYOTO TAMBA」</b> ・府名誉友好大使や管内大学の留学生と協働し、京都丹波の魅力をフェイスブックで発信 （（仮称）Amazing KYOTO TAMBA隊の結成、京都丹波留学生ツアー（2回）、フェイスブック開設）	○	・Amazing Kyoto Tamba隊の結成 フェイスブック開設、現地ツアー10/24～25開催（1回）<◎>
	<b>④京都丹波の「見える化」PRキャンペーン</b> ・京都丹波・写ガールと協働で、京都丹波の各地域の各地域の魅力を発信する「まゆまると京都丹波」（6本）を制作し、CATVやインターネットで放映 ・局広報誌「“きずな”夢 京都丹波」の発行（3回） ・オール京都丹波の様々な情報等をタイムリーに発信する「京都丹波GUIDE」の創刊（情報誌、メルマガ兼用）（6回）【再掲】	◎	・「まゆまると京都丹波」制作 6本 <◎> ・局広報誌「“きずな”夢 京都丹波」の発行（3回）<◎> ・「京都丹波ガイド」創刊・メルマガ配信 12回<◎>

## 平成26年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況

運営目標	目標の内容	達成区分	
		細目	小項目の達成状況（数値目標の実績値・達成率）及び【未達成の要因・理由】
	<p>⑤「京都丹波・道の駅プロジェクト」による道の駅を核にした地域の賑わいづくり【再掲】</p> <p>・京・里山のおもてなし「七彩駅弁」新メニューや「京都丹波・道の駅スイーツ」等の道の駅特産品の開発・販売、七駅巡りスタンプラリー（応募者1,500名）や京都丹波・道の駅フェイスブック開設や雑誌による共同PR等</p>	◎	<p>・7つの道の駅で「七彩駅弁」新メニューや「道の駅スイーツ」等の道の駅特産品開発・販売→七彩スイーツの開発・販売（12月～1ヶ月で1,700個超販売）&lt;◎&gt;</p> <p>・七駅巡りスタンプラリーの実施 応募者1,500人→1,300人 &lt;△&gt;</p>
	<p>⑥「京都丹波EXPO2014 in かめおか」開催</p> <p>・食や文化に加え、スポーツや健康づくりをテーマに設定し企画を充実（来場者：1.5万人）</p>	◎	<p>・京都丹波EXPO in かめおか開催 食や文化に加え、スポーツや健康づくりをテーマに設定し企画を充実 来場者 1.5万人→1.5万人&lt;◎&gt;</p>
	<p>⑦「京都丹波・文化交流の日」による地域文化の発信</p> <p>・京都市内等で開催されるイベントで京都丹波の伝統芸能等公演等、京都丹波のPR</p>	◎	<p>・京都丹波文化芸術祭、南丹工芸文化祭、南丹市合唱フェスティバル、なんたんビート・バンド・フェスティバル、美山能楽のタベ等の開催への支援</p>
	<p>⑧京都丹波の様々な情報等をタイムリーに発信する「京都丹波GUIDE」の創刊（6回）（情報誌、メルマガ兼用）【再掲】</p>	◎	<p>・「京都丹波ガイド」創刊・メルマガ配信 12回</p>
	<p>⑨市町、商工会・商工会議所、観光協会、観光関係事業者等との連携・支援により、京都丹波地域でのインバウンド誘致を推進し、外国人観光客の増加を図ります。</p> <p>・域内の受入体制の整備（ネットワーク立ち上げ、外国語ツールの製作） 宿泊施設等へ提供する外国語対応ツールの言語数 3ヶ国語（英語、韓国語、中国語（2字体））</p> <p>・海外（台湾、東南アジア等）、国内（首都圏）でのインバウンド観光誘致プロモーションの支援等 国内外プロモーションの支援等 10件</p>	◎	<p>・京都丹波インバウンドネットワーク設立、 外国語ツール「指さしシート」制作（3ヶ国語）</p> <p>・国内外プロモーション支援等 10件（100%） 海外支援 2件（6月台湾プロモーション等） 国内営業支援 7件（9月ツーリズムEXPOジャパン、3月名古屋キャンペーン等） 京都丹波台湾プロモーション実施 1件（10月） ・インバウンドセミナー 4回実施（7月、10月、12月、3月）</p>

## 平成26年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況

運営目標	目標の内容	達成区分		小項目の達成状況（数値目標の実績値・達成率）及び【未達成の要因・理由】
			細目	
13 台風18号災害を踏まえ、早期災害復旧及び孤立集落対策を強化します。	<b>①被災した河川・道路等の災害復旧</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・河川災害221、砂防災害1、道路災害45、復旧治山等5箇所等の災害復旧工事の早期完成</li> <li>・園部川、本梅川（破堤箇所の復旧工事の推進）</li> <li>・綾部宮島線脇谷バイパス（調査、設計に着手）</li> <li>・郷ノ口余部線宇津根橋（用地買収に着手、一部工事に着手）</li> <li>・園部川の改修の推進（工事推進）</li> <li>・千々川の改修の推進（上流区間（亀岡市千代川町）の改修完了）</li> </ul>		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川災害221、砂防災害1、道路災害45箇所の災害復旧工事を実施し、その内河川災害154、砂防災害1、道路災害38箇所が完了</li> <li>・園部川、本梅川：破堤箇所の復旧工事完了</li> <li>・綾部宮島線（脇谷バイパス）：調査・設計に着手</li> <li>・郷ノ口余部線（宇津根橋）：左岸側の用地測量及び地権者への計画説明を実施</li> <li>・園部川の改修：工事推進</li> <li>・千々川の改修：上流区間（亀岡市千代川町）の工事推進</li> </ul>
	<b>②孤立集落等地域への迅速かつ的確な対応力の強化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・孤立集落をはじめとする地域の災害対応力を高めるため、初動対応マニュアルを作成し、タブレット端末等を利用した図上訓練を実施</li> <li>・地元市町等の要請、ニーズを踏まえた災害ボランティアセンターの立ち上げ支援（未設置の京丹波町に対し、災害ボランティアセンターの設置手順や運営に係る研修等）</li> </ul>		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8月4日（月）に南丹広域振興局管内水害対応訓練を実施。管内に孤立集落が発生している想定の下、管内市町への職員派遣及び派遣職員との衛星携帯電話を用いた通信訓練、管内市町幹部職員とのテレビ会議などを行った。</li> <li>・6月27日（金）に研修会を開催。管内市町及び京都府の取組と課題をそれぞれ情報共有するとともに、災害ボランティアセンターの運営等について意見交換を行った。 ※8月28日（木）京丹波町災害ボランティアセンター設立</li> </ul>

## 平成26年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況

運営目標	目標の内容	達成区分	
		細目	小項目の達成状況（数値目標の実績値・達成率）及び【未達成の要因・理由】
14 あらゆる危機事象への迅速・的確な対策を講じます。	<p>①あらゆる危機事象への迅速かつ的確な対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原子力防災対策に係る情報共有を促進し、環境放射線測定車等による放射線監視体制を強化するとともに、管内市町、関係機関と連携して、原子力災害を想定した訓練を実施</li> <li>・南丹家畜保健衛生所と連携して、南丹広域振興局が独自に作成した口蹄疫対応マニュアルによる図上訓練の実施、連絡会議を開催</li> <li>・府の新型インフルエンザ等対策行動計画を受け、南丹広域振興局が独自に作成した「新型インフルエンザ対策マニュアル（業務継続計画・新型インフルエンザ編）」の見直し</li> <li>・関係機関と連携して、通学路の安全対策及び歩道整備を推進するとともに、関係情報をホームページにより提供</li> <li>・違法開発案件等に対し、南丹広域機動班会議をはじめとした対策会議等を開催し、関係機関との連携を強化</li> </ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原子力防災対策、広域避難に係る関係会議に関係市町と出席するとともに、環境放射線調査車による測定（5月、9月、12月、3月）など放射線監視体制を強化。 また、管内市町、関係機関と連携して、11月24日に「原子力総合防災訓練」を実施。</li> <li>・口蹄疫対策マニュアルによる図上訓練（10月17日）、連絡会議の開催（6月25日）</li> <li>・関係機関等に意見照会を行い、南丹広域振興局の「新型インフルエンザ対策マニュアル（業務継続計画・新型インフルエンザ編）」の見直しに係る意見照会・取りまとめを実施</li> <li>・府民公募型整備事業による通学路等の安全対策の実施（審査会：9月、12月）、PM2.5に関する情報をホームページで提供</li> <li>・違法開発事案等に対する関係機関連絡会議・合同パトロールを適宜実施（旬間パトロール 5月）</li> </ul>
	<p>②感染症対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設でのノロウイルス等集団発生を予防するために、障害者施設を対象にリーダー養成講習会等を開催し、施設内での組織的な取組を推進 （29講習会等参加 全42施設）</li> </ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダー養成講習会9月・10月実施 障害者施設 11施設参加 不参加の33施設には講習会資料を配付し対策取組を推進</li> </ul>
	<p>③京都式生活・就労一体型支援事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「居場所」における生活支援や「農園」を活用した就労体験により生活保護受給者等未就労者の早期自立を支援 （支援対象者50名、新規就労者10名）</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活保護受給者を中心に60名が登録。うち6名が就職。 農業体験や日常生活の改善指導等を実施。</li> </ul>
	<p>④自殺防止対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各市町や関係機関・団体によるネットワークを構築するとともに、府民への広報・啓発を行うことにより、地域での見守り体制を強化し、管内での自殺者数を減少させます。</li> </ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居場所カフェ「みずのきカフェ」（みずのき美術館：亀岡市）による美術館と連携したワークショップを通じた居場所づくりを推進</li> <li>・自殺防止の街頭啓発 4回</li> <li>・管内自殺者数及び自殺率（警察統計） H25 31名 22.1%（圏域別5位） H24 27名 19.0%（圏域別6位） H23 38名 26.6%（圏域別7位）</li> </ul>

## 平成26年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況

運営目標	目標の内容	達成区分		小項目の達成状況（数値目標の実績値・達成率）及び【未達成の要因・理由】
			細目	
	<p><b>⑤</b>家畜防疫体制を整備します。</p> <p>・家畜保健衛生所と連携し、有事の際の体制の強化。（対応マニュアル研修、実施演習の実施）  南丹管内口蹄疫初動対応マニュアル研修会の実施 1回  マニュアルに基づく机上演習の実施 1回  先遣隊研修会、実地防疫演習実施 各1回</p>		◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口蹄疫初動対応マニュアル研修会：1回 10月17日&lt;◎&gt;</li> <li>・マニュアルに基づく机上演習（口蹄疫）：1回 10月17日&lt;◎&gt;</li> <li>・マニュアルに基づく机上演習（高病原性鳥インフルエンザ）：1回 11月14日&lt;◎&gt;</li> <li>・先遣隊研修会：1回 8月28日&lt;◎&gt;</li> <li>・実地防疫演習：1回 12月11日&lt;◎&gt;</li> </ul>
	<p><b>⑥</b>ため池の安全対策を進めます。</p> <p>・ため池管理者及び周辺住民のため池に対する防災意識の向上を図り、ため池災害の減災防災を実施。（ハザードマップの作成、危険ため池の計画的改修）  危険ため池の整備改修 2池  今後の改修に向けた調査設計 2池  ため池管理の弱体化を防ぐため、受益農家だけでなく、周辺住民を含めた新たなため池管理保全管理組織 1箇所  ため池ハザードマップの作成 3池</p>		◎	<p>危険ため池の整備：南丹市1池、京丹波町1池で改修工事を実施、年度末完成予定。  調査設計：京丹波町1池、亀岡市2池で改修に向けた調査設計を実施中。  ため池保全管理：業務委託し、南丹市で組織づくりを進めており、すでに地元とワークショップを実施  ハザードマップ：5池で業務委託してマップ作成中。3月上旬までに地元とワークショップ開催予定</p>
	<p><b>⑦</b>梅雨前線豪雨や台風18号による林地災害の早期復旧を進めます。</p> <p>・地域住民及び森林所有者の合意形成を円滑に進め、林地の復旧対策に早急に着手。（平成24年発生梅雨前線豪雨や平成25年発生台風18号の被災箇所）  復旧治山：亀岡市曾我部町、京丹波町安井 2箇所  予防治山：亀岡市千歳町、南丹市八木町八木 2箇所  奥地保安林保全緊急対策：亀岡市篠町 1箇所</p>		◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5箇所着手（100%）</li> <li>復旧治山：2箇所中2箇所着手（100%）</li> <li>予防治山：2箇所中2箇所着手（100%）</li> <li>奥地保安林保全緊急対策：1箇所中1箇所着手（100%）</li> </ul>

## 平成26年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況

運営目標	目標の内容	達成区分		小項目の達成状況（数値目標の実績値・達成率）及び【未達成の要因・理由】
			細目	
15 水害からまちを守るため、河川整備を推進します。	①桂川改修の推進 ・戦後最大洪水への対応を目指し、保津工区の段階的整備の推進（高水敷掘削、護岸工、支川処理等の工事の推進） ・保津橋（亀岡市保津町）～園部川合流点（南丹市八木町鳥羽）間の堤防補強対策の推進（八木工区の推進） ・園部川の改修の推進（工事推進）【再掲】 ・千々川の改修の推進（上流区間（亀岡市千代川町）の改修完了）【再掲】		○	・戦後最大洪水への対応を目指し、保津工区の段階的整備の推進：高水敷掘削、護岸工、支川処理等の工事の推進 ・保津橋（亀岡市保津町）～園部川合流点（南丹市八木町鳥羽）間の堤防補強対策の推進：八木工区の工事推進 ・園部川の改修：工事推進 ・千々川の改修：上流区間（亀岡市千代川町）の工事推進
	②平成24年7月の集中豪雨及び昨年の台風18号により被害を受けた河川の改修促進 ・雑水川（改修の推進） ・園部川、本梅川（破堤箇所の復旧工事の推進）【再掲】		◎	・雑水川：改修の推進 ・園部川、本梅川：破堤箇所の復旧工事完了
	③天井川（七谷川）の解消に向けた河川整備計画の策定（桂川上流圏域河川整備計画の策定）		○	○ 天井川（七谷川）の解消に向けた河川整備計画の策定：桂川上流圏域河川整備計画を策定中（七谷川の測量、設計委託実施）
	④まちづくりと一体となった河川整備の推進 ・東所川（八木駅西土地区画整理事業の進捗に合わせて整備を推進） ・法貴谷川（国営緊急農地再編事業の進捗に合わせて整備を推進）		○	・東所川：八木駅西土地区画整理事業の進捗に合わせて整備に着手 ・法貴谷川：国営緊急農地再編事業の進捗に合わせて整備を推進
	⑤近年豪雨及び平成16年台風23号出水に対応した（畑川ダムと合わせた）高屋川改修の推進（藤ヶ瀬工区の用地取得及び工事の推進）		◎	◎ 高屋川改修の推進：藤ヶ瀬工区の用地取得が概ね完了、工事推進
	⑥土砂災害から生命・財産を守る砂防事業の推進 ・中谷川（亀岡市千歳町）（流路工の完成） ・英サ谷（ハフサニ）川（美山町島）（流路工の推進、法面の用地取得に着手） ・篠原西一谷（シハラニイタニ）川（京丹波町篠原）（用地取得の推進）		◎	・中谷川（亀岡市千歳町）：流路工完成 ・英サ谷（ハフサニ）川（美山町島）：流路工の一部完成、法面の工事発注 ・篠原西一谷（シハラニイタニ）川（京丹波町篠原）：用地立会、用地測量を実施

## 平成26年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況

運営目標	目標の内容	達成区分	
		細目	小項目の達成状況（数値目標の実績値・達成率）及び【未達成の要因・理由】
16 安心・安全な地域づくりのため、府民と一体となった事業を推進します。	① 昨年の台風18号により被災した河川・道路の災害復旧【再掲】 （河川災害221箇所、砂防災害1箇所、道路災害45箇所の災害復旧工事の完成）	○	河川災害221、砂防災害1、道路災害45箇所の災害復旧工事を実施し、その内河川災害154、砂防災害1、道路災害38箇所が完了
	② 府民協働・府民参加による河川管理通路の整備推進 （年谷川（亀岡市中矢田町）堤防の散策路整備計画策定及び実施設計作成）	○	河川管理通路の整備推進：年谷川（亀岡市中矢田町）堤防の散策路整備計画を策定
	③ 土砂法に基づく土砂災害警戒区域等の指定拡大 （2,350箇所指定（全体約3,700箇所の64%））	◎	土砂災害警戒区域等の指定拡大：2,494箇所指定（全体約3,848箇所の65%）
	④ 大規模地震に備え、市町と連携し木造住宅の耐震化を促進  ・耐震診断補助事業及び耐震改修助成事業を2市1町で実施するとともに、制度周知のため広報活動を市町と連携して実施。  ・木造住宅の耐震診断、耐震改修の戸数増を図る。（耐震改修 19戸）	◎	・各市町の広報（広報誌の全戸配布、金融機関の窓口に補助事業等パンフレットの配架、年間を通じてホームページへ募集案内の掲載、耐震化の「のぼり」を活用した制度の周知や防災関連イベントへ参加し耐震化の必要性の説明等）活動と連携して、補助制度を利用した耐震化を促進すると共に、町独自の住宅改修補助金交付制度を併用利用した耐震改修を実施 ・耐震改修 21戸 （本格改修 8戸 簡易改修 13戸）
	⑤ 緊急輸送道路ネットワークの整備推進  ・国道372号湯ノ花工区（工事の完成） ・国道372号南八田道路（用地取得の完了及び工事の推進） ・亀岡園部線（保津南工区）（工事の完成） ・亀岡園部線（千歳北工区）（事業の推進（埋蔵文化財調査の支援及び工事の推進））	○	・国道372号（湯の花工区）：工事完成（4月30日供用開始） ・国道372号（南八田道路）：用地取得及び工事の推進 ・亀岡園部線（保津南工区）：工事完成（5月10日供用開始） ・亀岡園部線（千歳北工区）：埋蔵文化財調査実施
	⑥ 防災工事及び橋梁耐震工事等の推進  ・防災工事の推進（京都広河原美山線（美山町田歌他）の法面工事の推進、国道162号（盛郷）の堆雪帯工事に向けた用地買収の推進）  ・緊急輸送道路の橋梁耐震化等の推進：国道423号曾我部橋（平成27年度完成に向けて工事の推進）	○	・京都広河原美山線（美山町田歌他）：工事推進 ・国道162号（盛郷）：用地交渉実施 ・国道423号（曾我部橋）：A2橋台完成、上部工工事に着手

## 平成26年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況

運営目標	目標の内容	達成区分		小項目の達成状況（数値目標の実績値・達成率）及び【未達成の要因・理由】
			細目	
	<b>⑦災害時の孤立、大規模迂回の解消【再掲】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・綾部宮島線脇谷バイパス（調査、設計に着手）</li> <li>・郷ノ口余部線宇津根橋（用地買収に着手、一部工事に着手）</li> </ul>		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・綾部宮島線（脇谷バイパス）：調査・設計に着手</li> <li>・郷ノ口余部線（宇津根橋）：左岸側の用地測量及び地権者への計画説明を実施</li> </ul>
	<b>⑧通学路等の安全対策の推進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校や地域と連携した通学路点検及び安全対策の充実、歩道整備の推進</li> <li>・府道王子並河線（社会実験結果及びアンケート調査結果を踏まえ、関係機関と調整の上、速度抑制の安全対策を実施）</li> <li>・国道423号南条交差点(曾我部小学校前)（工事の完成）</li> <li>・郷ノ口余部線宇津根橋（用地買収に着手、一部工事に着手）</li> </ul>		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学路点検及び安全対策の充実：教育委員会、警察と道路管理者で通学路を点検。その結果を踏まえ、必要箇所において順次対策を実施。</li> <li>・府道王子並河線：安全対策を実施（5月23日速度抑制ポールの設置完了）</li> <li>・国道423号（南条交差点）：工事完成</li> <li>・郷ノ口余部線（宇津根橋）：左岸側の用地測量及び地権者への計画説明を実施</li> </ul>
	<b>⑨京都丹波の道・長寿プランの推進（道路施設の点検・補修工事の推進）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・橋梁点検(96橋)、舗装点検(延長8km)及びトンネル点検(12箇所)の実施</li> <li>・点検結果に基づき必要な補修工事の実施</li> </ul>		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・橋梁点検(85橋)、舗装点検(延長8km)及びトンネル点検(4箇所)を実施</li> </ul>

## 平成26年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況

運営目標	目標の内容	達成区分		小項目の達成状況（数値目標の実績値・達成率）及び【未達成の要因・理由】
			細目	
<p>16 安心・安全な地域づくりのため、府民と一体となった事業を推進します。（地域のにぎわいにも貢献する川づくりと一体となった親水施設の整備を推進します。）</p>	<p>①「保津川かわまちづくり」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・にぎわいの拠点（山本浜）の護岸整備の推進</li> <li>・地域主導型公共事業による「保津川花回廊」（鶺ノ川～西川）及び年谷川右岸園路の整備推進</li> </ul>	○	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・にぎわいの拠点（山本浜）：護岸整備を推進</li> <li>・地域主導型公共事業による「保津川花回廊」（鶺ノ川～西川）及び年谷川右岸園路：整備推進</li> </ul>
	<p>②「美山川・やすらぎの川づくり」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かやぶきの里前の護岸整備の完成</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ ・かやぶきの里前の護岸の整備：完了</li> </ul>
	<p>③府民協働・府民参画による河川管理通路及び通学路等の歩道整備の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年谷川（亀岡市中矢田町）堤防の散策路整備計画策定及び実施設計作成</li> <li>・通学路等の歩道整備の計画的な推進（L=1,500m）</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ・年谷川（亀岡市中矢田町）堤防の散策路整備計画を策定</li> <li>・通学路等の歩道整備の計画的な推進：L=2,020m（国道372号湯ノ花工区 L=1,100m、亀岡園部線保津南工区 L=430m、国道423号南条交差点 L=490m）</li> </ul>
	<p>④日頃から河川に親しむための「365日の川づくり」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「保津川かわまちづくり」の推進</li> <li>・「美山川・やすらぎの川づくり」の推進</li> <li>・アユモドキの保全：地元及び研究者と連携し、生息環境の保全再生</li> <li>・雑水川「ふれあい水辺づくり」の推進</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ ・「保津川かわまちづくり」の推進</li> <li>・「美山川・やすらぎの川づくり」の推進</li> <li>・アユモドキの保全：地元及び研究者と連携し、生息環境の保全再生を実施</li> <li>・雑水川「ふれあい水辺づくり」の推進</li> </ul>
	<p>⑤さわやかボランティア・ロード事業及び南丹ふるさとの川愛護事業の愛護団体など、府民参画・府民協働の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者目標：5,000名</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ ・参加者：5,247人</li> </ul>

## 平成26年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況

運営目標	目標の内容	達成区分		小項目の達成状況（数値目標の実績値・達成率）及び【未達成の要因・理由】
			細目	
<p>16 安心・安全な地域づくりのため、府民と一体となった事業を推進します。（地域と一体となった地域のまちづくり、景観づくりを推進します。）</p>	<p>①京都丹波の魅力を満喫するための「（仮称）京都丹波景観街道」の整備（府内、管内の観光地、管内の「道の駅」等を巡るルートの整備）</p> <p>・綾部宮島線脇谷バイパス（調査・設計に着手）</p>	○	◎	・綾部宮島線（脇谷バイパス）：調査・設計に着手
	<p>②地域主体の地域連携によるまちづくりの支援</p> <p>・「地域主導型公共事業」（丹波PA、「保津川花回廊」事業）の支援</p>		◎	<p>・丹波PA（桧山須知線）：交差点改良工事完成</p> <p>・「保津川花回廊」事業：整備推進</p>
	<p>③まちづくりと一体となった河川整備の推進</p> <p>・東所川（八木駅西土地区画整理事業の進捗に合わせて整備を推進）</p> <p>・法貴谷川（国営緊急農地再編事業の進捗に合わせて整備を推進）</p>		○	<p>・東所川：八木駅西土地区画整理事業の進捗に合わせて整備に着手</p> <p>・法貴谷川：国営緊急農地再編事業の進捗に合わせて整備を推進</p>
	<p>④地域景観の保全・創造への支援</p> <p>・地域の景観づくり活動を育むための景観資産の広報・啓発の推進</p>		◎	・11月3日の美山町ふるさと祭において広報・啓発活動（京都府景観資産パネル等の展示）を実施
	<p>⑤教育と土木のコラボ事業の拡充（1年を通じた土木工事PRカリキュラムの実施）</p> <p>・2市1町で3校以上</p>		○	・京丹波町立和知小学校の児童を対象に、高速道路についての講義及び丹波綾部道路の建設現場での見学会を実施。